

明治大学グローバルCOEプログラム  
【現象数学の形成と発展】

第6回現象数理談話会

# GCOE Colloquium

2009年12月7日(月)16:30 - 17:30  
明治大学生田校舎 第二校舎 A館 401教室



## なぜ起こるクラゲ大発生 — 海洋生態系の異変現象 —

上 真一 UYE Shin-ichi (広島大学)



ミズクラゲは1960年代から東京湾で、80年代から瀬戸内海で大発生し始めた。そして、エチゼンクラゲは今世紀に入ってから東アジア縁海域(渤海、黄海、東シナ海、日本海)で大発生し始めた。クラゲの大発生や異常発生は世界各地に広がっている。クラゲ大発生の原因は、クラゲの競合者である魚類の乱獲のみならず、沿岸域の富栄養化、温暖化、海洋構造物の増加などの人間活動の高まりに由来していると考えられている。

海洋環境の変化を個体群増加や大発生につなげることでできるクラゲの生活史特性と子孫保存へのしたたかな戦略は見事である。海域がひとたびクラゲが増加傾向に転じると、より多くの魚卵や仔魚が捕食されるので魚類資源の回復は益々困難となる「クラゲスパイラル」現象を引き起す。クラゲだらけの海はサカナの生産のない不毛の海となる。5億年前の地球の海はクラゲの王国であった。今、クラゲは王国の再興をねらっているのではなかろうか。



参加自由です。皆様のお越しをお待ちしております。

明治大学生田校舎へのアクセス：  
小田急線「生田駅」から徒歩10分又は「向ヶ丘遊園」駅北口から  
「明治大学正門前」行きバスで終点下車  
詳しくは、[http://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/](http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/) をご覧下さい。



明治大学グローバルCOEプログラム  
「現象数学の形成と発展」 拠点リーダー：三村昌泰  
問い合わせ先：明治大学教学企画部グローバルCOE推進事務室  
Email: [gcoe@mics.meiji.ac.jp](mailto:gcoe@mics.meiji.ac.jp)